

報道資料

令和4年5月10日

報道機関各位

国立大学法人長岡技術科学大学
地域防災実践研究センター

長岡市立東中学校にて防災に関する出前授業を実施します
(～地域レジリエンス効能を目的とした SDGs 教育方法の開発・実施について～)

近年の災害では、人的被害や主要施設の機能不全など、想定を超える事態が発生しており、地域の実情を踏まえた防災や減災への取組が不可欠として、それぞれの自治体や学校現場で防災教育が実施される状況にあります。

そこで、本学では東京電力ホールディングス(株)との包括連携協定に基づく研究プロジェクトの一環として、災害対応の全体像を見据えた適切な行動がとれるように、児童・生徒自身に考えてもらう防災教育の開発を行っており、昨年度より出前授業を実施しております。

今年度は、令和3年度「長岡市ものづくり未来支援補助金」の支援を受け製作した「ブレーカー実験キット」を使って、電気関係の設備と水害の被害復旧をより効果的に学習できる出前授業を行います。

報道機関の皆様におかれましては、ぜひご取材くださいますようお願い申し上げます。

記

場 所:長岡市立東中学校(長岡市水道町 5-1-1)

日 時:令和4年5月18日(水) 14:00～15:10(70分)

対 象:同校中学3年生

内 容:「SDGs×防災教育」

従来の学習(「生きる」、「備える」)に加え、早期復興・回復のための学習を実施

問合せ・取材申込み先

国立大学法人長岡技術科学大学

大学戦略課企画・広報室

電話:0258-47-9209 メール:skoho@jcom.nagaokaut.ac.jp

※16日までに本学へ連絡の上、当日は13:30に東中学校の正面玄関に集合ください。

以上